

新型コロナウイルス「ワクチン接種」のお知らせ 第29号

※作成日現在の予定であり変更する場合があります。ご了承ください。

令和5年3月1日

新型コロナウイルスワクチンの臨時接種は… 令和5年4月以降も実施します



ワクチン接種の実施期間を1年間延長する方針が示されました。
当面は、現在行っている接種を継続しますので、未だ受けられていない方は早目の接種をご検討ください。

令和5年度のワクチン接種については、詳細が決まり次第お知らせします。

◆当面の接種予定

対象者	接種区分	ワクチン	会場	実施日時
12歳以上	初回接種 (1・2回目)	ファイザー (従来型)	市民病院	3月16, 23日 15:00～ 4月6, 27日
		ノババックス	市民病院	3月9, 30日 15:00～ 4月20日
	追加接種 (3～5回目) (R4年秋開始接種)	ファイザー (オミクロン株対応)	市内医療機関	各医療機関による
		ノババックス (*18歳以上)	総合福祉センター	3月11, 25日 9:00～ 4月中旬に1～2回実施予定
小児 (5歳～11歳)	初回接種 (1・2回目)	ファイザー (5～11歳用)	保健センター	3月10, 31日 18:00～ 4月5, 19, 26日 18:30～
	追加接種 (3回目)			
乳幼児 (6か月～4歳)	初回接種 (1～3回目)	ファイザー (6か月～4歳用)	保健センター	3月8, 15, 22, 29日 18:00～ 4月5, 19, 26日

※オミクロン株対応ワクチン及びノババックスによる追加接種は、今のところ**お一人1回限り**です。

※初回接種を完了していないとオミクロン株対応ワクチンによる追加接種を受けることができません。

※ノババックスは遺伝子組換えタンパクワクチン（不活化ワクチン）です。アレルギー等によりメッセンジャーRNAワクチン（ファイザー）を接種できない方等のご利用ください。

◆入園、入学までに接種をご検討ください

新しい生活を迎えるにあたっての感染防止対策の一つとして、春休み期間中に接種を済ませましょう。

◆新型コロナウイルスに陽性となった方のワクチン接種

症状が快復し療養期間が解除されたら、本人が希望すればワクチンを接種することができます。ただしノババックスの場合は、快復してから2週間程度の間隔を空けてください。

◆年度末・年度始めに向けて、感染防止策を再確認し実践しましょう

卒業、就職、進級進学シーズンを迎え、会食や旅行の機会が増える時期です。「感染しない」「感染させない」ために、一人ひとりが基本的な感染防止策を徹底しましょう。

◆令和5年度接種の概要

区分	実施時期	対象者	ワクチン
春夏接種	5～8月	65歳以上の高齢者 基礎疾患がある等重症化リスクが高い方 医療機関、高齢者施設等に従事する方	オミクロン株対応2価ワクチン またはノババックス
秋冬接種	9～12月	接種可能な全ての方	未定

これからのマスク着用について(3月13日以降)

今般、マスク着用についての考え方が見直され、マスクを着用するかどうかは基本的に個人の判断に委ねられます。

その判断材料として、マスク着用を推奨する場面等が示されていますので、次を参考に、お一人おひとりがそれぞれの場面で使い分けてください。



マスク着用を推奨する場面等

マスクの取扱い

◆周囲の人に感染を広げないために

- *発熱等の症状がある
- *新型コロナウイルスの検査で陽性
- *同居家族に陽性者がいる

外出を控える
通院等のため、やむを得ず外出するときは…

▶家庭内でもマスク着用

▶マスクを着用
人混みを避ける

◆重症化リスクの高い方への感染を防ぐために

- *医療機関を受診するとき
- *医療機関や高齢者施設等を訪問するとき
- *ラッシュ時等の混雑した電車やバスに乗るとき

▶マスク着用を推奨

◆感染からご自身を守るために

- *感染症の流行期に、高齢者や妊婦等重症化リスクの高い方が混雑した場所に行くとき

▶感染防止対策としてマスク着用が効果的

◆医療機関や高齢者施設等における対応

- *高齢者等重症化リスクの高い方が多く入院、入所
- *利用者への感染を抑止する必要

▶従事者について勤務中のマスク着用を推奨

◆事業者における対応

- *マスクの着用は個人の判断に委ねられる
- *事業上の理由等から必要な感染対策は取り得る

▶利用者または従業員にマスクの着用を求めることは許容される

◆基本的に、個々が主体的に着脱を判断

- *屋内、屋外など今いる場面に応じて対応
- *その時、その場所の感染状況なども考慮

▶状況に応じて着脱できるようにマスクを持ち歩く習慣づけ

◆マスク着用に係るその他のポイント

- ・マスクを「着ける」「着けない」の選択は、お互いの判断を尊重しましょう
- ・本人の意思に反してマスクの着脱を強いることが無いようにしましょう
- ・子どもについては、健やかな発育・発達の妨げとならないよう配慮しましょう。
- ・「感染しない」「感染させない」ための基本的な対策を常に心がけ、実行しましょう。

